

令和五年度 事業所自己評価シート

職員による自己評価

A：環境面

- ・ バリアフリーではないが不自由はしていない
- ・ 曜日によっては手狭な日がある
- ・ オーナーの方に協力を得てイベントを開催している

B：児童への支援

- ・ 外での経験・体験が多い
- ・ 学習・カリキュラムの内容が充実している
- ・ 検定を受けることができる

C：関係機関との連携

- ・ 療育センター等の関係機関とは情報を共有している
- ・ 送迎時に学校とのやり取りなどもある
- ・ 地域の方々との関りがある

D：非常対応

- ・ 防犯・感染予防等の各種マニュアルがある
- ・ 送迎時などの対応について再確認が必要

E：保護者への説明責任・信頼関係

- ・ 契約時、連絡帳、面談、電話等で子供の様子を共有している

保護者による自己評価

A：環境面

- ・ 指導員の人数がわからない
- ・ 子供も楽しそうに通所している

B：児童への支援

- ・ 様々な経験・体験ができる
- ・ 勉強を一緒にしてくれる
- ・ 外にも連れて行ってくれる

C：事業所からの情報発信

- ・ 連絡帳で日々の様子を伝えてくれる
- ・ 日常の子供たちの姿を見たい
- ・ 送迎時に伝達してくれる

D：非常対応

- ・ 避難訓練の実施状況がわからない

事業所内での分析・検討

事業所の強み

- ・ 毎日の通所でも、利用時間が長い日でも楽しめる環境・イベントがある
- ・ 子供たちが様々な経験・体験ができる環境
- ・ 日々の学習時間

事業所の改善点

- ・ 避難訓練の実施状況説明が不足している
- ・ 学習プログラムの有効活用
- ・ 保護者への情報共有をより充実させる
- ・ 活動内容がマンネリ化しない工夫

事業所内での取り組み

- ・ 避難訓練に実施報告をわかりやすくする
- ・ カリキュラムやイベントの内容の見直しを定期的に行う
 - ・ 学習への取り組みの強化
- ・ 指導員・保護者との情報共有の徹底